人形劇団むすび座

トッケビ

-鬼ヶ島と呼ばれた島-

鹿児島の中高生の想いが生んだのは
姿かたちを観る人にゆだねる
『人形劇の新境地』

（徳之島子ども劇場運営委員　寳田健二）

脚本　西上寛樹
演出　大野正雄
美術　小辻賢典
人形デザイン　上村竜平（鹿児島県子ども劇場協議会）
音楽　岡田健太郎（岡田音楽事務所）

昔々のことだから、あったかなかったかわからないが、
なかったこともあったことにして聞いてくれ

昔々、「この島」にはトッケビが住んでいた。トッケビは姿の見えない、島に吹く風のような存在だ。おばあさんも島民たちも、トッケビと一緒に穏やかな島の生活を送っていた。

だがある時、海の向こうから桃の旗印を掲げた、かの有名なご一行がこの島めがけてやって来た。その者達は、この島を「鬼ヶ島」と呼んだ…

鬼のいない鬼ヶ島で繰り広げられるもう一つの桃太郎伝説。はじまりはじまり。

この作品は、見た人によって考えたり引っかかるポイントが違います。それを周りと共有し深めていけるそんな作品です。この作品が今の若い世代の中で考えるきっかけになっていけたらいいと思っています。

（日渡絢深　高校2年生）

イラスト　日渡絢深

〒459-8001 名古屋市緑区大高町字川添86
TEL(052)623-2374　FAX(052)623-9520
https://www.musubiza.co.jp/
e-mail puppet@musubiza.co.jp